

## 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

### 1 概要報告

令和3年度も、一昨年度に引き続き、断続的に繰り返す新型コロナウイルスの感染拡大が、社会経済活動に影響を与えました。景気が低迷する中において、雇用・就業については少しずつではありますが回復の基調は見られましたが、依然としてコロナ感染症の終息には至らず、年度終盤には感染力の強い異変株の猛威にさらされた試練の一年となりました。

コロナ禍により当センター事業にも影響が出ています。緊急事態宣言等が発令され、第4波、第5波と感染者数が増大した春から夏の期間は、例年と比べると契約金額、就業人数とも大きく落ち込みました。感染拡大が収まった秋には一気に回復に向かいましたが、異変株により感染者が急増し、第6波となった2月以降、再び契約金額を落とすこととなりました。

令和3年度の事業実績は、請負事業では契約金額 189,328 千円(対前年比 1.5%減)、派遣事業は契約金額 48,013 千円(対前年比 5.2%減)、有料職業紹介事業 2,089 千円(対前年比 408.3%増)で、会員への配分金・賃金は 190,344 千円(対前年比 1.6%減)となりました。

会員数については、前年度 438 人に対し、本年度は 439 人で1人増加し、辛うじて維持することができました。全国各地のセンターが大幅に会員を減らす中で、昨年引き続き増加しました。いろいろな媒体を通じたシルバー事業の周知や魅力あるセンターづくりなどに取り組んだことが要因と思われます。

安全就業では「安全は全てに優先する」との基本姿勢のもと、会員へ継続的な安全就業の声かけやパトロールの取り組みを行いました。残念ながら年度末に転倒事故が1件発生し、1年以上続いた無事故記録がストップしてしまいました。今後も引き続き、会員の安全意識の高揚と安全対策に努め“事故ゼロ”への取り組みが求められます。

適正就業については、国の示した適正就業ガイドラインに沿い、発注者の理解を得て請負から派遣への切り替えを進めました。

以下、事業実施状況について報告いたします。

### 2 事業実施状況

#### (1) 会員の拡大

センター発展の基礎となる会員の拡大を重点課題ととらえ、新規入会者を増やすため、次の取り組みを行いました。

- ① センター会報「匠」、ホームページによるシルバー事業の市民周知
- ② 入会説明会（28回開催し、内8回は地域へ出張して入会説明）
- ③ ハローワーク八鹿との連携による就業相談会の開催（9回開催）
- ④ シニア就職面接相談会参加（ハローワーク主催）
- ⑤ 会員友の会事業の充実（女性会発足）
- ⑥ 高齢者を対象にした植木剪定講習会開催によりシルバー事業を周知

（各年度3月31日現在）

年度	養父市総人口	60歳以上人口	会 員 数		
			会員数	男性	女性
R 2	22,634名	10,464名	438名	240名	198名
R 3	22,177名	10,325名	439名	235名	204名
昨年対比	△457名	△139名	+1名	△5名	+6名

## （2）就業機会の確保・拡大

センターを更に発展させるためには、会員の拡大とともに、会員の就業機会を確保・拡大することが重要であり、公共機関等に継続的な仕事の発注をお願いするなど就業開拓を行いました。

### 職群部会の事業実績

（単位：千円）

年度	植木剪定	運転	草刈	襖・障子	福祉
R 2	8,181	8,477	13,398	1,002	10,394
R 3	9,340	8,700	15,869	613	8,250
昨年対比	114.2%	102.6%	118.4%	61.2%	79.4%

就業機会確保・拡大のために次の活動を行いました。

- ① センター会報「匠」によりシルバー事業を紹介（8月・1月 年2回発行）
- ② 一般就業先・派遣事業先へPR用リーフレットを配布
- ③ 市長・議長へ就業機会確保・拡大の要望書を提出
- ④ 企業向けシルバー活用セミナーの開催
- ⑤ センターの情報をホームページ、フェイスブックで紹介
- ⑥ 市内4地域において次のとおりボランティア活動を実施

月 日	内 容	参加者数
7月3日	八鹿地域：養父市役所周辺清掃作業	35名
7月3日	養父地域：養父地域局周辺清掃作業	32名

7月10日	大屋地域：大屋地域局周辺清掃作業	25名
7月10日	関宮地域：関宮地域局周辺清掃作業	22名

### (3) 女性会員の増強と就業機会の拡大事業

#### ① 笑い与健康お届け隊

養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）を目的に、会員が「笑い与健康お届け隊」の隊員となり、各地域に出向き高齢者を対象にフレイル予防教室を行っています。会員となって活動を希望する女性会員が増えています。

隊員数 42名 会員就業延人日数 725人日

#### ② 女性会員にふさわしい地域に密着した就業

家事援助、子育て支援など福祉分野で会員が活躍しています。

- ・家事支援等訪問サービス 利用者3件、会員就業延人日数30人日
- ・養育支援訪問サービス 利用者1件、会員就業延人日数6人日
- ・学童保育 6施設、会員就業延人日数366人日
- ・保育補助 6施設、会員就業延人日数1,971人日
- ・子育て支援ヘルパー 利用者2件、会員就業延人日数16人日

#### ③ あゆ公園内のレストランを運営

あゆ公園内のレストランを、観光客が多く訪れる7～9月の期間に営業し、女性会員の就業機会を拡大しました。

会員就業実人員12人、就業延人日数309人日

#### ④ 炊き込みご飯の素など商品開発

養父市産の農畜産物を主原材料として使用したレトルトパックの炊き込みご飯の素3種類とカレーを女性会員が関わり、商品開発して販売しました。

#### ⑤ 手芸品の作成など魅力ある活動

女性会員が「手芸の会」のグループ活動により、手芸品等を作成して販売しました。

#### ⑥ 学校・地域との連携と交流

笑い与健康お届け隊が、フレイル予防を市内の学校や地域で、体験を通じて教示しました。

- ・公立八鹿病院看護専門学校（老年看護援助論授業1回4名参加）
- ・第一学院高等学校養父校（対面授業4回20名、リモート授業7回14名参加）
- ・相地区出前教室1回、八鹿老人クラブ連合会A地区出前教室1回、八鹿老人クラブ連合会役員研修1回

### (4) 特徴ある就業機会創出事業

農業分野、福祉分野で、地域の課題解決を会員の新たな就業に結び付けると

ともに、地域の活性化に資する事業を行いました。

＜楽農応援事業＞

人口減少、高齢化など様々な要因で農地の維持ができなくなり、耕作放棄地が増える中で、センター自ら荒廃の進む中山間地の農地を借り受け、お米など農産物を有機により栽培して、養父市ブランドとして都市部の住民や飲食店、給食センター等へ販売しました。また、会員が栽培する農産物をセンターが集荷して都市部で販売し、高齢になっても楽しく農業ができるよう応援しました。主な実績は次のとおりです。

区 分	販 売 先
シルバー関係	明石市 SC、宝塚市 SC、芦屋市 SC、西宮市 SC、門真市 SC 姫路市 SC
イベント関連	門真市
民間関係	民間企業 3 社

＜地産地消“やぶもん”推進事業＞

養父市産の安心・安全・美味しいにこだわった農産物や特産品を市内で消費するよう取り組みました。市内の病院などへの農産物提供、食堂の食材利用、シルバー豊年まつりなどイベントやあゆ公園内での直接販売、収穫体験による養父市産農産物 PR、レトルト食品やお弁当など市内産農産物を加工して販売するといった 6 次化などに取り組み、地産地消を推進しました。

＜フレイル予防事業＞

健康で安心して暮らせるまちをめざし、養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）事業「毎日元気にクラス」に取り組んでいます。会員が“笑い与健康お届け隊”となり、養父市内に出向き、各地区週 1 回 1 時間程度の教室で、健康につながる「運動」「栄養」「社会」プログラムを伝えています。参加者や会員がともに元気で明るく楽しい毎日を送れるようにと事業を行いました。令和 3 年度は、毎日元気にクラス教室を 10 地域で実施するよう予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 5 地域の実績に留まりました。

笑い与健康お届け隊の活動実績は次のとおりです。

【毎日元気にクラス教室】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H28	13 地区	3,192 名	752 名
H29	11 地区・1 校区	2,537 名	645 名
H30	11 地区	3,521 名	737 名
R 1	10 地区	2,874 名	712 名
R 2	4 地区	1,255 名	311 名

R 3	大杉、由良、八木谷、門野、高柳自治協議会	1,211名	309名
-----	----------------------	--------	------

【継続地区フォローアップ】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H28	4地区	38名	7名
H29	15地区・1校区	171名	28名
H30	13地区	153名	24名
R 1	29地区・1校区	323名	59名
R 2	46地区	447名	109名
R 3	天子、諏訪町、大森、駅前、青山、寄宮、宿南自治協議会、椿色、下八木、米里、森、左近山、高中、奥米地、大藪、堀畑、筏、栗ノ下、大屋市場、宮垣、轟、大谷	192名	43名

【継続地区体力測定】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H30	33地区・1校区	418名	65名
R 1	33地区・1校区	363名	63名
R 2	18地区	184名	49名
R 3	天子、京口、下町、諏訪町、上網場、寄宮、石原、椿色、馬瀬、中八木、下八木、長野、中央、建屋、船谷、稲津、高中、奥米地、中米地、大塚、養父市場、藪崎、宮本、大屋市場、宮垣、葛畑、中瀬、関宮、三宅、	259名	62名

【研修会等】

内 容	回数	延参加会員数
寸劇研修	1回	10名
スキルアップ研修	5回	197名

(5) 独自事業（手芸品）

月に2回、女性会員相互の交流を深めながら、独自事業として手芸品づくり活動をしています。手芸品のリフォームも含め、作った手芸品を販売しました。会員の丁寧な作品が好評を得ています。

(6) 有料職業紹介事業

高齢者の雇用機会の拡大を図るため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事務所として、高年齢者に職業を紹介しました。令和3年度、59人に職業紹介しました。

#### (7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

高齢者の多様な働き方を確保するため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する会員と雇用契約を締結し、会員を事業所等へ派遣します。実施に当たっては、協会と緊密な連携を図りながら事業を実施しました。契約金額は48,013千円で、対前年比5.2%減となり派遣事業の割合が減りました。

#### (8) 養父市委託事業

養父市が行う放課後ふるさと教育事業を受託し、「ふるさと伝承体験学習講座」を市立こども園と学童クラブで実施しました。

### 3 安全・適正就業の推進

安全はすべてに優先することを最優先として安全就業に取り組む中、令和3年度は就業中に事故が1件（請負）発生しました。

適正就業については、国が作成した適正就業ガイドラインに沿った適正な就業形態となるよう努めました。

#### ① 安全技能講習会の実施

月 日	講 習 会 等 名	参加者数
6月17日	草刈部会（草刈機取扱い講習）	14名
10月22日	安全運転管理者講習会	1名

#### ② 安全委員会、安全推進会議の開催

安全委員会2回、安全推進会議12回開催

#### ③ 安全パトロールの実施

安全委員、安全就業推進員、職員等による現地パトロールを随時実施

#### ④ 兵庫県警本部主催「無事故無違反運動 チャレンジ100」

8チーム（80名）参加

#### ⑤ 安全就業の啓発

啓発チラシ 毎月配布

#### ⑥ 就業の交代制、ローテーションによるワークシェアリングの推進

#### ⑦ シルバー会員に相応しい就業の取り組み

### 4 要望活動

#### ① 8月6日、養父市長、養父市議会議長へ補助金確保、市からの事業発注の確

保・拡大、インボイス制度導入に係る特例措置の国への働きかけを要望

- ② 12月22日、国会議員、厚生労働省高齢者雇用対策課長へインボイス制度の導入改善を要望
- ③ 1月20日、財務省主計局審議官へインボイス制度適用除外を要望

#### 5 大学等の研究・研修への協力

- ① 兵庫県立大学看護学部（フレイル予防事業の実習）
- ② 関西学院大学理工学部（蛇紋岩土壌での植物栽培の研究）

#### 6 友の会事業

会員の福利厚生に伴う事業を行いました。

- ① 友の会運営委員会の開催（2回開催）
- ② 日帰り親睦研修旅行  
10月31日（日）に86名の参加で、出雲大社参拝旅行へ
- ③ グラウンドゴルフ同好会活動
- ④ 手芸同好会活動
- ⑤ 女性会発足及び女性の会活動  
12月10日（金）に女性会発足式
- ⑥ 慶弔見舞関係 10件

#### 7 法人としての一般事業

総会、理事会等の開催

- ① 定時総会  
5月28日に（公社）養父市シルバー人材センター大会議室において開催
- ② 理事会（4回開催）  
5月6日、9月17日、12月14日、3月23日
- ③ 監事監査（年2回）  
4月26日、11月4日（中間監査）